

# 全仏

ZENBUTSU



# 485

仏暦2546年1月（2003年）  
財団法人 全日本仏教会  
JAPAN BUDDHIST FEDERATION



東京グランドホテルで行なわれた理事会（関連記事4、5頁）

**常務理事会**  
**国・政府による「戦没者新追悼施設」**  
**建設に意見書**

# 新春にあたって



## 全日本仏教会会長

### 大谷 光 真

年頭に当たり、ご挨拶申し上げます。

昨年二月一日に、第二十五期会長に就任いたしました。初めての新年を迎えることができました。事務局をはじめ加盟各宗派、各団体の皆様のご協力をいただきながら、決意を新たに務めさせていただきたいと思っております。

昨年は、私にとりましても人生に思いを巡らすことが多くございました。また目を世界に向けると、かつての在任二期以上の難関が人類に突きつけられているように思います。

今日の世界情勢は、国家間対立から、民族間対立、宗教間対立へと推移し、環境問題など、人類の存亡にかかわる問題が噴出してきます。今後、民族の対話、宗教間対話を進め、国内でも宗派を越えた交流をなお一層進めて行かねばなりません。その意味で、全日本仏教会にかけられる期待は大きいものがあるように思います。

仏教は過去から現在に至るまで、人々の心のよりどころとなり、あらゆるいのちを尊重する根拠ともなってきました。

「あたかも、母が己が独り子を命を賭けても護るように、そのように一切の生きとし生けるものどもに対しても、無量の（慈しみの）こころを起すべし」『スッタ・ニパータ』（一四九）と説かれているように、人間を含めたいのちを平等に見る仏教の生命観は、現代にあつて、ますます重要なものとなっていくことでしょう。

長い伝統の上に、今出遇うことのできた仏法を仰ぎつつ、ともに語り合い、ともに手を携えて、広く伝えてまいりたいと存じます。本年も、なにとぞ本会の活動へのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

## 謹 賀 新 年

財団法人 全日本仏教会

会 長 大谷 光真  
副会長 渡邊 恵進

理事長 森 和久  
常務理事 有田 惠宗

武野 以徳 石上 智康  
三浦 崇 禿 信敬  
水谷 幸正 袖山 榮真  
渡邊 清明 土生川 正道  
細川 景一 西郊 良光  
小林 照宥 大塚 惠章

理事 安藤 正晃 出口 順得  
網野 義紘 長谷川 霊信  
升巴 隆夫 酒井 文雄

横山 敏明 加納 博司  
後藤 佑芳 近藤 真道  
増田 貞圓 井上 紀生

監 事 松尾 善雄 島田 喜久  
萩野 映明  
瀬古 眞隆

事務総長 小林 正道  
事務総局職員一同

# 初心にかえり



## 全日本仏教会理事長

### 森 和久

本会加盟の五十八の宗派、三十五の都道府県仏教会、九の仏教系団体に所属される全国七万余の寺院におかれましては、平素本会の諸活動へ格別の御協力を賜っていますこと厚く御礼を申し上げますと共に、壬午年の多事多端をのりこえられ、癸未の新年をつつがなく迎えられましたこと心より御慶び申し上げます。

国内外共多事多難であった昨年をふりかえる時、宗教心の根本である共生の心が忘れ去られた様な世相の変化に、世界中の人々が大きな戸惑いを覚えていることと思えます。

本会におきましても、各教団が互いの違いを認め合い手を取りあつて、世界の平安に向け努力していくことが急務として、世界各地にての平和サミットへの積極的な参加を心がけ、世界の平和と安泰のためさらなる精進をいたす心算でございます。

他方、国家政策変更の一端である「国立戦没者追悼・平和祈念新施設の在り方」・「有

事法制関連法案」・「公益法人制度改革」・「教育基本法改正」等、日本の我々仏教関係者にとつて関心ある諸問題が次々とおし寄せられています。

宗教離れ・寺離れの進む一方、宗教団体による諸事件が注目をあびている現在、国家や社会より、宗教法人自体の公益性や意義が厳しく問われると共に、税制や今後の情報公開等の面においても、早急な対応にせまられているように思われます。

このような混沌とした今日こそ、宗教・宗派間のかきねをとりさると共に、宗教法人おたがいが原点に帰ることが肝要かと思えます。本会の目的である全一仏教運動推進の初心にかえり、この難関に立ち向かつて進一歩と考えておりますので、いたりませんが本年も何卒宜しく御指導、御鞭撻の程切にお願い申し上げます。年頭の所感とさせていただきます。

合掌

# 謹賀新年

## 全日本仏教会加盟団体一同

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 天台宗       | 山梨県仏教会      |
| 天台眞盛宗     | 長野県仏教会      |
| 金峯山修験本宗   | 岐阜県仏教会      |
| 天台寺門宗     | 静岡県仏教会      |
| 聖観音宗      | 愛知県仏教会      |
| 孝道教団      | 滋賀県仏教会      |
| 妙見宗       | 京都府仏教会      |
| 念法眞教      | 京都府仏教連合会    |
| 高野山眞言宗    | 大阪府仏教会      |
| 眞言宗智山派    | 兵庫県仏教会      |
| 眞言宗豊山派    | 和歌山県仏教会     |
| 眞言宗大覚寺派   | 鳥取県仏教会      |
| 新義眞言宗     | 香川県仏教会      |
| 眞言宗善通寺派   | (社)徳島県仏教会   |
| 眞言宗御室派    | 愛媛県仏教会      |
| 眞言宗山階派    | 高知県仏教会      |
| 眞言宗泉涌寺派   | 福岡県仏教連合会    |
| 眞言宗醍醐派    | 宮崎県仏教連合会    |
| 眞言宗分寺派    | 沖縄県仏教会      |
| 眞言宗須磨寺派   | (社)日本仏教婦人連盟 |
| 眞言宗中山寺派   | (財)仏教伝道協会   |
| 眞言三寶宗     | (財)日本仏教連合会  |
| 信貴山眞言宗    | (社)日本仏教教育協会 |
| 眞言宗大鳴派    | (財)国際仏教興隆協会 |
| 東寺眞言宗     | 群馬県仏教連合会    |
| 浄土宗       | (財)仏教振興財団   |
| 浄土宗西山禅林寺派 | 栃木県仏教会      |
| 浄土宗西山深草派  | 茨城県仏教会      |
| 西山浄土宗     | (財)埼玉県佛教会   |
| 浄土眞宗本願寺派  | 千葉県仏教会      |
| 眞宗大谷派     | 東京都仏教連合会    |
| 眞宗高田派     | 神奈川県仏教会     |
| 眞宗光寺派     | 新潟県仏教会      |
| 眞宗興正派     | 石川県仏教会      |
| 眞宗木辺派     | 福井県仏教会      |

計 一〇二団体

(順不同)

# 理 事 会 開 催

十一月十三日午後一時半より、東京グランドホテルで理事会が開催された。三帰依文唱和の後、森和久理事長を議長に、西郊良光、松尾善雄の両師を議事録署名人に選出し、議事に入った。

**議案第一号「財政検討委員会」中間答申承認の件**

森理事長より上程。瀬古眞隆財政検討委員会委員長より経過説明。宮川財務部長が全仏事務所の改修、委員会出向経費負担の件等、平成十五年度予算に反映されるべき事項を説明。承認された。

**議案第二号「平成十五年度予算編成の基本方針について承認を求める件」**

森理事長より上程。宮川財務部長より説明。原案通り承認された。

**協議事項一「評議員数削減の件」(前回理事会よりの継続審議)**

櫻井総務部長が文化庁の指導等による評議員数削減の必要性を説明。一加盟団体より最低一名が就任し、現在の定数一六八名を一〇二名まで削減する。実施は次期(二十六期)からという改定案を提示。協議の後、確認された。

**協議事項二「会議、委員会の公開の件」(前**

**回理事会よりの継続審議)**

櫻井総務部長より説明。公開の範囲、対象等について協議され、次回理事会までに要点を文章化し、再度検討することになった。

**協議事項三「宗教情操教育に関する中央教育審議会への要請の件」**

小林事務総長より説明。文部科学大臣の諮問により検討が進められている中央教育審議会の教育基本法改正に関する答申案に、本会として宗教情操教育等の重視を盛り込むべく要請を行うべきか協議された。政府および関係諸官庁等へ要請活動を行うこと。その内容は理事長に一任することが承認された。

## 報告事項

- 一、副会長推戴委員会、常務理事会が十二月三日、東京グランドホテルで開催される。
- 二、ルンビニー報告。

去る十一月、上坂悟本会派遣考古学者、渡邊国際文化部長がネパールで遺物、保管場所の鍵の返還を完了した。今後は、考古学調査報告書の早期刊行に尽力し、今後の対応については委員会で協議していく。

- 三、第二十二回WFB世界大会が十二月九、十三日にマレーシアで開催される。大谷光真会長と随行三名、会議出席者五名、記念

ツアー参加者四十一名が出向。  
四、広報拡充方針について

全仏の広報の一環として、加盟団体機関誌への全仏記事掲載の依頼、ホームページの刷新と活用、正しい仏旗の普及、リーフレット、封筒、全仏誌体裁等の刷新を現在進めている。

五、関西事務局との連携を図るため、十一月十四日、関西事務局出席のもと事務総局会議を開催する。

六、千鳥ヶ淵戦没者墓苑改修の具体案が厚生労働省により決定された。

七、日宗連主催「宗教と税制シンポジウム」が十一月二十六日に開催される。

八、前進座「天平の薨」中国里帰り公演に際し、本会は金銭的援助なしの後援、発起人を受けることになった

九、仏教伝道協会「文化賞」に松濤弘道本会国際委員会委員長。正力松太郎賞には、インド・日本寺援助などの点から、(財)国際仏教興隆協会、(社)日本仏教保育協会、(社)全日本仏教婦人連盟の三団体を推薦した。

十、同和研修会が十一月八日、真宗大谷派真宗本廟「視聴覚ホール」で開催された。

十一、加盟宗派責任者同和研修会が二〇〇三年二月、真言宗豊山派宗務庁で開催される。  
十二、信教の自由に関する委員会が、靖国神

社と戦没者追悼の問題に關しての第四回委員会報告を理事長宛提出。政府官房長官の懇談会の推移を見て委員会を招集する等対応する。

十三、公益法人改革に關し、その動向を注視し必要な対応を取る。

十三、国際協力を促進する仏教者ネットワーク(略称 仏教NGOネットワーク)に対し本会も協力体制をとって行きたい。

十四、教皇庁医療司牧評議会主催第十七回国際大会(十一月六日～十一日 於ヴァチカン)で、田中雅博師(真言宗豊山派僧侶、医師)に仏教的見地からの医療プレゼンテーションをして頂いた。

## 常務理事会

十二月三日午後二時より、東京グランドホテルで常務理事会が開催された。三帰依文唱和の後、森和久理事長を議長に、石上智康、水谷幸正の両師を議事録署名人に選出し、議事に入った。

**議案第一号「平成十四年度補正予算(案)について承認を求める件」**

森理事長より上程。宮川財務部長より説明。原案通り承認された。

**議案第二号「平成十五年度事業計画(案)」**

・**収支予算(案)の大綱について承認を求める件**

森理事長より上程。櫻井総務部長、宮川財務部長より説明。原案通り承認された。

**議案第三号「副会長推戴候補の承認の件」**

森理事長より上程。西郊良光副会長推戴委員会委員長より、本会議に先立ち行われた委員会の結果が報告され、原案通り承認された。

**協議事項一、「会長・理事長・事務総長の輪番制について」**

櫻井総務部長より説明。過去の経緯を確認し、今後については継続して検討していくことになった。

**協議事項二、「各種委員会委員と事務総局職員の人選、派遣期間について」**

櫻井総務部長より説明。各種委員会委員については、その委員会の特質を生かした人選を派遣宗派・団体にご依頼する方向で、また事務総局職員の人選については、各宗派の意向を尊重する方向で今後も検討することになった。

**協議事項三、「政界との関連について」**

櫻井総務部長より説明。協議の後、政界との関係の重要性を認識し、今後本会の懇親会などで交流を深めて行くことになった。

**協議事項四、「国・政府による「国立戦没者新追悼施設」建設に関する意見具申の件」**

事務局より理事長へ協議を要請。承認の後、

壽山社会部長より、十一月二十七日開催された第五回信教の自由に関する委員会、国・政府による「国立新追悼施設」建設に関する意見書を全仏として政府に提出するのが妥当である旨、意見集約がなされ、小山典勇委員長より理事長宛報告の後、理事長より本常務理事会で検討する必要性が示された事が説明された。

委員会でまとめられた意見書案を元に詳細に協議され、文案を一部修正した形で早期に意見書を提出する方向で意見集約がなされた。

### 報告事項

一、全仏の広報拡充のため、加盟団体機関誌への全仏記事掲載依頼、全仏誌の体裁の刷新、正しい仏旗の普及、封筒などの基本デザイン作成の推進状況が報告された。

二、理事会・評議員会・新年懇親会が、二月五日より二月十二日開催へ日程変更された。三、ルンビニー園マヤ堂修復事業の現況を報告。

四、平成十五年に予定される中央教育審議会答申に關し、十一月十三日の理事会での決定に基づき、理事長一任で宗教情操教育推進のため、本会としての要請・意見具申の準備を進めている。

五、ペット供養に關する課税問題について、事実確認の後、今後、国税庁に対し具体的要請を行う。

謹 賀 新 年

東京港区芝二一五一 〒105-8544 ○三(三四五四)五四一一		出版部長 荒澤義範	財務部長 河村松雄	伝導部長 市河雄峰	人事部長 乙川映元	教化部長 宮川敬學	総務部長 佐藤良彦	教学部長 淵英徳	参議 岩本昭典	参議 松原太流	宗務総長 有田惠宗	管 長 大道晃仙	曹洞宗宗務庁
-------------------------------------	--	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	----------	---------	---------	-----------	----------	--------

京都市下京区烏丸通七条上る 〒600-8505 ○七五三七)九一八一(代表)		参務 同和推進本部長 林 治	参務 日谷 泉	参務 但馬 弘	参務 杉浦義孝	参務 高濱純雄	宗務総長 三浦 崇	真宗大谷派
---	--	----------------	---------	---------	---------	---------	-----------	-------

東京都大田区池上一一三二一 〒146-8544 ○三(三七五)七一八一 FAX ○三(三七五)七一八六		参 与 浅井玄裕	参 与 堀江宏正	現代宗教研究所長 石川浩徳	立教開宗七百五十年 慶讃会事務局長 田澤元泰	室宗務総長 篠原智高	財務部長 中條令紹	総務部長 曲山海弘	教務部長 及川周介	伝道部長 田端義宏	総務局長 小松浄慎	伝道局長 市川智康	宗務総長 渡邊清明	管 長 藤井日光	日蓮宗宗務院
---	--	----------	----------	---------------	---------------------------	------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	----------	--------

京都市右京区花園妙心寺町六四 〒616-8035 ○七五(四六三)三二二一		花園會館長(兼) 松井宗益	法務部長 津田清章	本花園會館長 鈴木眞道	財務部長 瀬古眞隆	教学部長 宮田正勝	総務部長 松井宗益	宗務総長 細川景一	管 長 西片義保	臨濟宗妙心寺派 宗務本所
--	--	---------------	-----------	-------------	-----------	-----------	-----------	-----------	----------	-----------------

# 謹 賀 新 年

京都市下京区堀川通花屋町下ル 〒600-8501 〇七五(三七)五一八一 F A X 〇七五(三五)一一二一一	同 桑 羽 隆 慈	同 村 上 智 真	同 村 永 行 善	同 松 原 功 人	総 務 武 田 昭 英	総 長 武 野 以 徳	浄土真宗本願寺派	
浄土宗宗務庁 京都市東山区林下町四〇〇一八 〒605-0062 〇七五(五三)二二〇〇(代) F A X 〇七五(五三)五一〇一五 浄土宗東京事務所 東京都港区芝公園四一七一四 〒105-0011 〇三(三四)三三三五一(代) F A X 〇三(三四)三三四 〇七四四	職 員 一 同	出版室長 小 林 正 道 同和推進 出 口 芳 演 事務局長	総長公室長 豊 岡 謙 尔 <small>齋藤泰上人 八百六十年美濃事務局長</small> 東京事務所長 袖 山 榮 眞 社会局長 大 島 良 彦	財務局長 曾 和 義 雄 教学局長 小 林 昭 五 総務局長 松 本 眞 岳	宗務総長 水 谷 幸 正 浄土門主 中 村 康 隆	浄 土 宗		
和歌山県伊都郡高野町高野山一三三二 〒648-0294 〇七三(五六)二〇一一 F A X 〇七三(五六)四六四〇	堀川別院主監 京都宗務出張所所長 佐々木 弘 傳	東京別院主監 東京宗務出張所所長 壽 山 良 知	同和局長 佐々木 兼 俊 企画室長 富 家 海 信 教学部次長 倉 岡 弘 叔	内 事 長 常 岡 弘 雄 財務部長 高 橋 智 運 山林部長 篠 田 光 海 法 会 部 長 中 西 啓 寶	執 行 部 長 岩 坪 眞 弘 總 務 部 長 眞 田 有 範 宗 務 部 長 土 生 川 正 道	座 長 資 延 敏 雄 管 行 長 眞 田 有 範 宗 務 部 長 土 生 川 正 道	総本山金剛峯寺 高野山真言宗宗務所	
大津市坂本四丁目六番一号 〒520-0113 〇七七(五七)九〇〇二二 F A X 〇七七(五七)九二五二六	一 階 参 照 運動総本部 久 保 智 尚	参 考 社 会 部 長 秦 順 照	参 考 教 学 部 長 小 堀 光 實	参 考 財 務 部 長 大 谷 正 道	参 考 法 人 部 長 稻 岡 慈 順	参 考 総 務 部 長 工 藤 秀 和	天 台 座 主 渡 邊 惠 進 宗 務 総 長 西 郊 良 光	天 台 宗 務 庁

# 謹 賀 新 年

真言宗智山派宗務所 総本山智積院法務所 管 長 宮 坂 宥 勝 宗務総長 小林 照 宥 寺務 長 小 林 照 宥 執総務部長 桑 澤 宥 康 教 学 部 長 原 弘 隆 教 化 部 長 御 嶽 隆 英 執 務 部 長 金 剛 照 欣 執 務 部 長 芙 蓉 良 英 宗務出張所長 別院 執 事 鈴 木 中 也 京都市東山区東大路七条下ル 東瓦町九六四 〒605-0951 〇七五(五四)五三六一
---

真言宗豊山派宗務所 管 長 川 田 聖 定 宗務総長 大塚 恵 章 総務部長 嶋 晃 秀 教 化 部 長 根 岸 榮 宏 教 務 部 長 鈴 木 道 雄 財 務 部 長 横 山 裕 教 教 化 セ ン タ ー 長 菅 野 秀 浩 専營僧正四百年、頼瑠僧正七百年 御遠忌記念事業委員会 事務局長 真言宗豊山派総合研究院 院長 田 代 弘 興 加 藤 精 一 東京都文京区大塚五十四〇一八 〒112-0012 〇三(三九四五)〇六三九
---

黄檗宗大本山萬福寺 黄檗宗宗務本 管 長 仙 石 泰 山 宗務総長 赤 松 達 明 庶務代行 中 島 義 晃 教 学 部 長 秦 旭 光 京都府宇治市五ヶ庄三番割三四 〒611-0011 〇七七(四三三)三九〇〇 FAX 〇七七(四三三)六〇八八	聖観音宗 浅草寺 貫 首 清 水 谷 孝 尚 執 事 長 小 岩 井 貫 承 東京都台東区浅草二丁目一 〒111-0032 〇三(三八四二)〇一八一 FAX 〇三(三八四五)六九三三
---	--

真言宗大覚寺派 大本山 大覚寺 管 長 跡 片 山 宥 雄 宗務総長 坂 口 博 之 京都市右京区嵯峨大沢町四 〒616-8411 〇七五(八七二)〇〇七一 FAX 〇七五(八八二)四九一一	愛知県仏教会 会 長 近 藤 真 道 副 会 長 玉 井 康 之 同 吉 田 教 行 同 岡 島 博 司 日進市岩崎台一一二四〇 〒470-0135 〇五六(一七二)三二五八 観音寺内	東京都仏教連合会 会 長 粕 川 鐵 禅 理 事 長 大 谷 博 通 事 務 局 長 垣 内 善 勝 東京都葛飾区柴又六一十七一二十 万福寺内 〒125-0052 〇三(三六五七)四五八八 FAX 〇三(三六五七)八五六三	岐阜県仏教会 会 長 寺 町 研 山 理 事 長 杉 山 令 憲 事 務 局 長 浅 野 義 光 岐阜市西野町三一 〒500-8882 〇五八(二六六)七八〇三 FAX 〇五八(二六六)七八〇三
---	---	--	---

# 謹 賀 新 年

京都市伏見区醍醐東大路町二二 〒601-1325 ○七五(五七二)〇〇〇二 F A X ○七五(五七二)三九三九	執財務部 行長 壁 瀬 宥 雅	執教 学部 行長 田 村 照 晃	執総務部 行長 岡 田 祐 雄	執宗務総 長 仲 田 順 和	座管 主長 麻 生 文 雄	真言宗醍醐派宗務本庁 総本山醍醐寺寺務所
京都府長岡京市粟生 〒617-0811 ○七五(九五五)〇〇〇二	執本 山部長 伊 藤 隆 泰	執財務部 事長 土 井 亮 俊	執教 学部 事長 日 下 俊 精	執宗務総 長 柴 田 康 英	法管 主長 岩 田 文 有	西山浄土宗 総本山光明寺
本山有清寺 〒602-8330 京都市上京区一条通七本松西入 流ヶ鼻町一〇〇五番地の一 T E L ○七五(四六三)四六二〇代 F A X ○七五(四六三)四六五一 本門佛立宗 宗務本庁 〒602-8371 京都市上京区御前通 一条上る 東堅町一〇番地 T E L ○七五(四六四)一六六代 F A X ○七五(四六四)五五九九	宗務総長 高 尾 日 音 講 有 野 崎 日 丞 本門佛立宗 本山有清寺	大阪府鶴見区緑三十四―三二 〒538-0054 ○六(六九一)二二〇一 念 法 眞 教 教 団 総 本 山 金 剛 寺		横浜市神奈川区鳥越三八 〒221-0064 ○四五(四三三)二二〇一	孝道山 本仏殿 統 理 岡 野 正 貫 副 統 理 岡 野 鄰 子 副 統 理 岡 野 正 純	
京都市上京区今出川通烏丸東入 〒602-0898 相國寺門前町六八四―一 ○七五(二三三)六九七五 F A X ○七五(二三三)六九七六	事 務 局 長 長 沢 香 静 理 事 長 有 馬 頼 底 会 長 東 伏 見 慈 洽	福島市仁井田字中門二十 宝勝寺内 〒960-8166 ○二四(五四六)六六四二 福 島 県 仏 教 会 会 長 佐 藤 智 仙 専 務 理 事 三 宅 俊 達 事 務 局 長 中 條 貫 道		松山市土居町一〇五九 万福寺内 〒791-1115 ○八九(九五七)七三四一	愛媛県仏教会 会 長 吉 川 俊 宏 副 会 長 神 野 龍 幸 同 挟 間 敬 宗	

# 謹 賀 新 年

<p>URL <a href="http://www.ninnaji.or.jp">http://www.ninnaji.or.jp</a> E-mail <a href="mailto:office@ninnaji.or.jp">office@ninnaji.or.jp</a></p>	<p>京都市右京区御室大内三三 〒616-8092 〇七五(四六一)一一五五 FAX 〇七五(四六四)四〇七〇</p>	<p>執行部長 打田祐善</p>	<p>執学部長 宮本光研</p>	<p>執行部長 大塚聖純</p>	<p>執行部長 中井龍照</p>	<p>管門長 跡堀智範</p>	<p>總本山仁和寺 真言宗御室派</p>		
<p>京都市左京区岩倉幡枝町九十一 〒606-0015 〇七五(七九二)七一一七 FAX 〇七五(七九二)七二六七</p>	<p>庶務部長 島田幸晴</p>	<p>教務部長 大森俊栄</p>	<p>社会部長 大塚正純</p>	<p>布教部長 早川義正</p>	<p>財務部長 藤崎行学</p>	<p>宗務次長 渡辺昭夫</p>	<p>宗務總長 中村通義</p>	<p>管長 中山日暁</p>	<p>顯本法華宗</p>
<p>大阪市平野区平野上町 〒547-0045 〇六(六七九)〇〇二六</p>	<p>會計部部長 久保良方</p>	<p>庶務部長 辻康彦</p>	<p>法務部部長 山田隆章</p>	<p>法務部部長 山田隆章</p>	<p>宗務總長 尾垣良格</p>	<p>法管主長 白井慈勲</p>	<p>融通念佛宗 總本山大念佛寺</p>		
<p>宝塚市米谷字清シ一番地 〒655-0837 〇七九七(八六六)六六四一 FAX 〇七九七(八六六)六六六〇 平念一シ <a href="http://www.kiyoshikojin.jp">http://www.kiyoshikojin.jp</a></p>	<p>鐵斎美術館長 村越英明</p>	<p>宗務部長 藤本浄海</p>	<p>法管主長 坂本光謙</p>	<p>真言三寶宗 大本山清澄寺</p>		<p>宗務總長 九野純孝</p>	<p>管長 野間秀昭</p>	<p>妙見宗</p>	
<p>奈良県生駒郡平群町信貴山三二八〇一 〒636-0923 TEL 〇七四五(七二)二七七 FAX 〇七四五(七二)二七七</p>		<p>寺務長 野澤密孝</p>	<p>宗務長 鈴木貴晶</p>	<p>前管長 鈴木鳳永</p>	<p>管長 田中真瑞</p>	<p>信貴山真言宗 總本山朝護孫子寺</p>		<p>大阪府豊能郡能勢町野間中七一八 〒563-0132 〇七二(七三七)〇〇二八 FAX 〇七二(七三七)一八五八</p>	

謹 賀 新 年

<p>事務局 大阪住吉区墨江三十七一八 〒558-0043 ○六(六六七)三三五九 FAX ○六(六六七)五〇〇四</p>	<p>事務局長 井桁雄弘</p>	<p>同 細井光道</p>	<p>同 麻生弘道</p>	<p>同 辻本戒雲</p>	<p>副会長 北村日照</p>	<p>会 長 増田貞圓 大阪府佛教会</p>
<p>さいたま市高砂四一三一一八 〒336-0011 ○四八(八六一)二二三八 FAX ○四八(八六四)六六四九</p>	<p>同 小久保隆福</p>	<p>同 穂山教雄</p>	<p>同 藤田得三</p>	<p>専務理事 萩野映明</p>	<p>副会長 目黒靖淳</p>	<p>会 長 酒井文雄 財団法人 埼玉県佛教会</p>
<p>管 長 丸山雙誉 真言宗国分寺派 大阪市北区国分寺一六一一八 〒531-0064 ○六(六三五)五六三七 FAX ○六(六三五)五六四七</p>	<p>管 長 五條順教 金峯山修験本宗 総本山 金峯山寺 奈良県吉野郡吉野町吉野山 〒639-3115 ○七(四六三)八三七一</p>	<p>寺務長 吉井恵貫</p>	<p>貫 主 小池弘三 真言宗須磨寺派 大本山須磨寺</p>			
<p>会 長 升巴隆夫 北海道仏教会連盟 札幌市中央区北三条西十九丁目二一 〒060-0003 ○一一(六一)九六三三</p>	<p>同 雲井世雄 同 水谷修夫 神戸市兵庫区北山町十二一五 〒652-0053 ○七八(五二)一九七五</p>	<p>同 斎藤学成</p>	<p>会 長 野沢秀功 事務局長 高山元延 事務局員 岡博永 八戸市是川字中居一八一二 〒031-0023 ○一七八(九六)一六八〇 清水寺内</p>			

謹 賀 新 年

<p>真宗大谷派 東本願寺内 〒600-8505 〇七五(三七)九一八一 常楽町七五四番地 京都市下京区烏丸通七条上る</p> <p>理事 三浦 崇 理事 武野 以徳 同 牧 達 雄 同 細川 景 一 同 小林 照 宥 同 仲田 順 和 同 杉若 恵 隆 同 村上 俊 鳳 同 王丸 儼 英 同 桃井 晋 城 同 伊藤 喬 淳 同 吹田 良 忠 同 豊田 元 彦 監事 長谷雄 良 祐 同 大橋 忍 彦 事務総長 田代 賢 治</p>	<p>京都府仏教連合会</p>	<p>理事 三浦 崇 理事 武野 以徳 同 牧 達 雄 同 細川 景 一 同 小林 照 宥 同 仲田 順 和 同 杉若 恵 隆 同 村上 俊 鳳 同 王丸 儼 英 同 桃井 晋 城 同 伊藤 喬 淳 同 吹田 良 忠 同 豊田 元 彦 監事 長谷雄 良 祐 同 大橋 忍 彦 事務総長 田代 賢 治</p>
<p>横滨市中区大平町九六 西有寺内 〒231-0859 〇四五(六六)〇一六六</p> <p>事務局長 和田 大 雅</p>	<p>神奈川県仏教会</p>	<p>会長 横山 敏 明 副会長 本間 孝 康 同 倉田 隆 常 同 松蔭 英 龍 同 斉藤 隆 法</p>
<p>長岡市上田町二二五 徳聖寺内 〒940-0074 〇二五八(三三)一五八六</p> <p>事務局長 小林 秀 徳</p>	<p>新潟県仏教会</p>	<p>会長 中村 啓 識 副会長 蒲原 靈 秀 同 春日 浩 三 同 春日 教 雄 同 本田 義 元</p>
<p>奈良市五条町一三一四六 〒630-8032 〇七四(三三)七九〇〇 FAX 〇七四(三三)五二六六</p> <p>管 長 益 田 快 範</p> <p>律宗 唐招提寺</p>	<p>神奈川県藤沢市西富一―八一―一 〒251-0001 〇四六六(三三)七二七六</p> <p>法 主 河 野 憲 善</p> <p>時宗 総本山清浄光寺(遊行寺)</p>	<p>鎌倉市山ノ内四〇九 〒247-0062 〇四六七(二二)〇四七八</p> <p>大本山 円 覚 寺</p> <p>臨濟宗円覚寺派</p>

# 謹 賀 新 年

〒108-0014 東京都港区芝四一三一-四 ○三(三四五五)五八五一	同 佐藤 健	監 事 林 行 雄	常務理事 高 島 孝 範	同 永 野 健	同 福 山 諦 法	同 高 崎 直 道	理 事 梶 山 雄 一	理 事 長 信 楽 峻 磨	会 長 沼 田 智 秀	財団法人 仏教伝道協会
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 四一五一九一-F FAX ○三(五七七二)〇六七七	事務局長 林 恵智子	副理事長 高 井 仲 子	理 事 長 島 田 喜 久 子	同 末 廣 久 美	副 会 長 大 賀 美 都 子	名 誉 会 長 鷹 司 誓 玉	社団法人 全日本仏教婦人連盟			
〒113-0034 東京都文京区湯島四一六一-二二 湯島ハイタウンB一二二-一 ○三(三八一四)三四六四	新 義 真 言 宗		宝塚市中山寺二丁目十一-一 〒665-8588 ○七九七(八七)〇〇二四 FAX ○七九七(八七)九八七七	大 本 山 中 山 寺	真言宗中山寺派	大阪府泉佐野市大木八番地 〒598-0023 ○七二四(五九)七二〇二 FAX ○七二四(五九)七二〇二	貫 管 主 長 東 條 仁 哲	真言宗犬鳴派 大本山 犬鳴山七宝瀧寺		
〒174-0041 東京都板橋区舟渡四一十五-一 ○三(三九六七)三二八八	理 事 長 中 山 静 磨	財団法人 日本佛教鑽仰会		東京都目黒区中目黒五二四-五三三 〒153-0061 ○三三三七(一)七六〇八 FAX ○三三三七(一)七六七三	国際仏教興隆協会 印度山日本寺 主 中 村 康 隆 理 事 長 山 田 一 眞 事 務 総 長 日 下 悌 宏 役 員 一 同	鳥 取 県 仏 教 連 合 会 鳥取県西伯郡淀江町淀江二四五 精明寺内 〒689-3402 ○八五九(五六)二五三三五				

### 第五回 信教の自由に関する委員会

十一月二十七日午後一時半より、明照会館会議室で、第五回信教の自由に関する委員会が、小山典勇委員長を議長に開催された。

靖国神社問題と国立戦没者新追悼施設（仮称）等の問題に関し議論された。

政府官房長官主催の新追悼施設に関する懇談会は六月より途絶えていたが、十一月十八日に再開され、年内に答申が出される方向が示された。そこで理事長の意向により、今回、委員会が緊急に招集され、対応が協議された。

その結果、前回委員会まで進めてきた委員会としての意見集約に基づく素案が検討され、文言の整理・付加等が行われた。そして全仏として政府に対し早期に意見具申する方向で進めるよう理事長に報告することになった。

また、中央教育審議会の教育基本法改正に関する検討に対して、宗教情操教育を推進するべく答申に盛り込むよう要請することが、十一月十三日の理事会で決定され、現在理事長一任で、政府・中央教育審議会等への要請等の準備が進められている。

以上の点が、事務局より報告され、委員により活発に意見交換がなされた。以上の詳細も、理事長宛報告することになった。

※上記、戦没者新追悼施設に関する政府に対する意見書について、小山委員長が理事長へ報告後、十二月三日の常務理事会で協議。文案を訂正し十二月十日付小泉首相宛提出した。

#### 国・政府による「戦没者新追悼施設」建設に対する意見書

現在、内閣官房長官主催による「追悼・平和祈念の記念碑等施設」の在り方を考える懇談会が開催され、国・政府による新たな戦没者追悼施設の建設が急がれています。本年末には懇談会としての見解をまとめ、その報告書が官房長官宛提出される予定と報道されています。

この懇談会で議論されている施設は、過去の戦争における犠牲者だけでなく、今後新たに想定される、戦没者の受け皿としての施設になる可能性がありますが、そのような国立の追悼施設設立には、私たち仏教者は反対致します。

本会は「靖国神社法案」、首相及び閣僚の「靖国神社公式参拝」に対して、過去二十三回にわたり、反対の意志表明と公式参拝中止の要請を行ってまいりました。靖国神社は、特定の基準をもって合祀の対象とした戦没者を神霊として祀る神社であり、純然たる宗教施設であることが明白であります。したがって、純然たる宗教団体である靖国神社に首相及び閣僚が公式参拝することは、どのような形式をとりましたが、憲法に定める「信教の自由」「政教分離の原則」に違反することは疑いの余地がございません。

戦没者の追悼は、国家が特定の宗教に関わって行うべきものではなく、各遺族がそれぞれに真実と仰ぐ宗教によつてなされるべきものであることは、当然のことです。この観点から本会加盟の各団体は、それぞれの宗教的理念と場所において、遺族の気持ちと悼み、戦後五十余年に亘り遺族と共に追悼の行為を積み重ねて来ました。

私たち仏教者は、過去の戦争に関する事実・責任を明らかにするべく努め、非戦平和を願い、過去の戦争における敵味方なき全戦没者・被災犠牲者の追悼を提唱いたします。そして、政府に対して、今後我が国が、二度と悲惨な戦争を繰り返さないという誓いを堅持し、世界平和実現のため努力されますよう要請するものであります。

二〇〇二年十二月十日

財団法人 全日本仏教会

内閣総理大臣

理事長 森 和久

小泉 純一郎 殿

### ルンビニー園マヤ堂修復事業 篤志支援者御芳名

- (社)全日本仏教婦人連盟様 金、 壹百萬円
- 法融寺 那須公順様 金、 十萬円
- 法清寺 奈良康明様 金、 十萬円
- 光明寺 石上智康様 金、 五十萬円
- 萬福寺 安本利正様 金、 十萬円
- 照栄院 石川恒彦様 金、 十萬円
- 龍泉寺 壽山良知様 金、 十萬円
- 信松寺 西村輝成様 金、 十萬円
- 保壽院 藤原知徳様 金、 十萬円
- 佛教大学 佛教青年会様 金、 十萬円
- 高福院 川島宏之様 金、 壹百萬円
- 妙高寺 吉橋勝寛様 金、 五十萬円
- 慈眼寺 櫻井英幸様 金、 五十萬円
- 西新井大師總持寺 濱野堅照様 金、 五十萬円
- 浄運寺 野口善教様 金、 十萬円
- 長慶寺 島田弘道様 金、 十萬円
- 善林寺 真柄信雄様 金、 十萬円
- 羅漢寺 水野和子様 金、 十萬円
- 圓通寺 矢野信頭様 金、 十萬円
- 金剛院 梅花講・森和久様 金、 二萬円
- 實相寺 山田一真様 金、 十萬円
- 近龍寺 豊田英道様 金、 十萬円
- 月島テレビ商會様 金、 十萬円
- 立正保園様 金、 十八萬六千円
- 全昌院 安達良元様 金、 參萬円
- 西有寺 横山敏明様 金、 壹百萬円
- 明順寺 斉藤明聖様 金、 五十萬円
- 能仁寺 萩野映明様 金、 三十萬円
- 西福寺 加納博司様 金、 三十萬円
- 妙本寺 加藤日暉様 金、 五十萬円
- 豪徳寺 柏川鐵輝様 金、 壹百萬円
- 法蔵院 杜多徳雄様 金、 五十萬円
- 善光寺 入西智彦様 金、 三十萬円
- 圓通寺 岩田文有様 金、 十萬円
- 森和久様 金、 壹百萬円

※篤志の振込先口座番号(郵便振替) 〇〇一三〇六一三三三六〇〇  
加入者名(財)全日本仏教会  
ルンビニー園復興協力金と明記下さい  
※本件に関するお問い合わせ  
全日本仏教会国際文化部  
電話 〇三三四三七一九二七五

## 教化セミナー

## 「公益法人見直しの中で

## いま、お寺の在り方を考える」(下)

## 現代の寺院と僧侶は何をすべきか

## 全国青少年教化協議会

## 事務総長 野生司 祐宏

前号に引き続き、十月三日本願寺築地別院で開催された教化セミナーより、野生司祐宏師(財)全国青少年教化協議会事務総長)の講演要旨を掲載する。

(文責 社会部)

私は、一住職の立場としてお話しさせていただきます。仏教界は、今非常に危機的状況にあると思います。伝統仏教の各教団は、新しい教団で七百年、古い教団では千年以上の歴史をもっており、それぞれ教義も異なります。現在、約七万七千のお寺がありますが、お寺が果たしている社会的機能は共通していると思います。学者は、死者儀礼(お葬式)と先祖供養(ご法事等)と言っています。宗派に係なくこれが仏教界全体に共通する社会的機能であると思います。

生駒孝彰龍谷大学教授もおっしゃっていますが、死者儀礼と先祖供養が始まったのは、江戸時代の幕府の宗教政策によるものです。ところが、死者儀礼と先祖供養という社会的機能の必要性がだんだん薄くなってきているというのが、私の

現代という時代に対する認識です。今の寺院制度を前提に考えますと、これはお寺の危機になると思われれます。一般寺院の多くの経済的基盤は、死者儀礼と先祖供養にあるからです。

まず、なぜ人は死者儀礼を行うのか。それは死への恐れ、死者への恐れだと思えますが、最近昔に比べて死に対する意識が薄らぎ、死が身近ではなくなってきたかと思えます。以前は、自宅で亡くなる方が多く、臨終を迎えると親戚や近所の人が来られ葬儀を行ったわけですが、そこで死を迎える特別な時を実感したわけです。今でも全国に様々な死にまつわる(お葬式にまつわる)民俗文化が残っていますが、それだけかつては大きな意味があったのです。

現在は、ご遺体も病院から直接、斎場に運ばれ、目にする機会がありません。何よりも今日は、高齢化社会を迎え死に向き合う機会が減っており、しかも家族が少なくなっています。子供は、ベットの死で「諸行無常」を感じていると言われるくらい死が遠い存在になり、死への恐れを感じる

機会が少なくなってきました。

次に先祖供養は、「家」という觀念がなくてはなり立ちません。今は、長男から「家」を継ぐという考えは薄らぎ、家族形態も変化し、結婚しない人、離婚する人、子どもをつくらぬ夫婦などが増え、「家」という觀念はもうまもなくなくなってしまうかと思えます。

また、先祖供養は、自分の身近な両親・祖父母などを敬う気持ちから出発します。そして、十分に親孝行出来なかったり、せめてお葬式だけでも、お墓だけでもと考える方が多かっただけです。しかし、ある人が「高齢化社会は、寺院の敵」と言っていました。人は早く亡くなるからこぼ惜しまれる。あまり長生きしますと、介護費用に使ってしまう、お葬式までかけるお金が残らない。高齢で亡くなると会葬者もお見えにならない。当然お葬式も味になる。

現代の教団組織は、江戸幕府の寺檀制度に基礎があるわけですが、その後、明治維新、第二次世界大戦の敗戦と大きな時代の節目がありました。社会は変革していききましたが、お寺を支えていた基本構造、つまり経済的基盤は変わっていません。明治以降は、僧侶の妻帯が増えて寺自体がある意味世俗化いたしました。門徒さん檀家さんが葬式や法事をやらなくなったわけではないからです。

戦後様々な新宗教も次々誕生しましたが、そうした宗教は最初は死者儀礼や先祖供養に興味を示さなかったため、お寺の経済的基盤に影響を与えませんでした。今年の夏、この築地別院で弓山達也大

正大学助教授を迎え僧侶研修会がありました。その中で「親が亡くなると三人に一人は、お寺(僧侶)を呼ばなくてはいけないのか」と葬儀屋さんに聞くという話がありました。それほど私たちの基盤になるものが揺らいでいるのです。

戦後、一九六〇年頃を境に、日本は大きく変わったといわれます。この年、農村と都市の人口の比率が逆転します。テレビなどの電化製品が普及し、人々の暮らし、意識が大きく変わって来ます。そうした中で、伝統仏教教団も改革運動がおこります。代表的なものに真宗大谷派の同朋会運動がありました。「家の宗教から、個人の信仰に基づく宗教へ」というスローガンは当時の時代背景を見事に象徴しております。これは、非常に先見的なスローガンだったかと思えますが、個々のお寺を支える経済的基盤が変化したわけではありませんでした。

日本は今、急速な経済発展を終え、高度情報化社会になりましたが、仏教教団はある面で江戸時代のままです。今、戦後教育を受けた方々が還暦を迎えます。それより上の世代が持つていたお寺さんだから、ご住職だからということで無条件に信頼する気持ちは、六十歳以下の方には期待できません。

全日本仏教会は、数年前、戒名の問題を研究いたしました。世間から、「戒名料が高くて」とご批判されたことが背景にありましたが、これは古き良き時代の話になるのかも知れません。これからは、戒名もいらぬという時代になるのかもしれないのです。

# 事務局録事

十二月(十四～三十日)

十四日 事務総局と関西事務局打合せ

法律相談室

十五日 釈尊降誕会中津川花まつり出席

二十日 真言宗智山派成田山新勝寺鶴見照

碩元貫首葬儀参列

二十二日 同和委員会

二十三日 孝道教団記念祝賀会出席

二十五日 局内会議

二十六日 日宗連主催「宗教と税制シンポジウム」

浄土宗差別戒名物故者追善法要参列

二十七日 信教の自由に関する委員会

WFB世界仏教徒会議マレーシア

大会記念ツアー説明会

二十八日 法律相談室

十二月(一～八日)

三日 副会長推戴委員会

常務理事会

四日 京都府仏教連合会主催・仏教講演会出席

同和小委員会

五日 局内会議

六日 スリランカ首相との交流会出席

仏教伝道協会世界仏教音楽祭出席

七日 東京都仏教連合会主催・成道会参列

八～十三日 WFB世界仏教徒会議マレーシア

ア大会記念ツアー及び会議出席

## 人事

### 就任

評議員 村永 行善 (浄土真宗本願寺派)

村上 智真 (浄土真宗本願寺派)

桑羽 隆慈 (浄土真宗本願寺派)

### 退任

評議員 不二川公勝 (浄土真宗本願寺派)

浅野 弘毅 (浄土真宗本願寺派)

菅 義成 (浄土真宗本願寺派)

## 立教開宗七五〇年

# 大日蓮展

日蓮聖人の立教開宗七五〇年を記念し、日蓮諸宗のお寺に伝わる聖人ゆかりの品々等、門外不出とされた秘宝を数多く展示予定です。  
日時 一月十五日～二月二十三日  
午前九時三十分より(月曜休館) 午後五時まで

会場 東京国立博物館(上野公園内)

観覧料 一般 一三〇〇円(一〇〇〇円)

高校・大学 九〇〇円(八〇〇円)

小・中学生 四〇〇円(三〇〇円)

( )内は前売

主催 日蓮聖人門下連合会 他

問い合わせ 日蓮宗事務院 大日蓮展事務局  
TEL 〇三(三七五)七一八一

## 花まつりポスター

本会が毎年頒布しております、花まつりのポスターです。価格は従来通り、一枚百円で、送料は実費ご負担下さい(着払)。お申し込みは五枚以上で、本会事務総局までFAX(〇三―三四三七―三二六〇)あるいはハガキでお願いします。



(たて594mm×よこ420mm)

## 無料法律相談

長谷川正浩弁護士による無料法律相談を毎月第二、第四木曜日の午後開催しております。本会事務総局(〇三―三四三七―九二七五)へ事前予約の上おいで下さい。

## お願い

本誌發送先変更の場合、事務局迄、ご一報をお願いします。